

## 領域8 インフォーマルミーティング議事録

開催日時：2023/9/18 (月) 12:30 - 13:30

開催地：東北大学 川内キャンパス

議長：有田 亮太郎 (領域代表、東大先端研)

司会：大塚 雄一 (運営委員代表、理研 R-CCS)

議事録作成：清水 悠晴 (書記、東北大金研)

### 出席者

領域代表 (2023/4 - 2024/3) 有田 亮太郎 (東大先端研)

領域副代表 (2023/4-2024/3) 永崎 洋 (産総研)

領域運営委員 (2022/10 - 2023/9)

大塚 雄一 (理研/理論)、寺嶋 健成 (NIMS/実験)、清水 悠晴 (東北大金研/実験)

領域運営委員 (2023/4 - 2024/3)

黒澤 徹 (室工大/実験)、石田 茂之 (産総研/実験)、西口 和孝 (神戸大/理論)、金子 竜也 (阪大/理論)、中村 翔太 (名工大/実験)

次期領域運営委員 (2023/10 - 2024/9)

田中 将嗣 (九工大工低温・実験)、曾田 繁利 (理研低温・理論)、土射津 昌久 (奈良女子大磁性・理論)

参加者：36名 (上記出席者を含めて)

### 学生優秀発表賞 受賞者紹介

2023年春季大会における受賞者の紹介が行われ、受賞者挨拶が行われた。受賞者は以下の5名。

林田 健志 (東大新領域)

日比野 瑠央 (北大院理)

尾方 司貴 (京大院理)

池野辺 寿弥 (東大物性研)

江見 方敏 (名大院工)

## 議題1：プログラム編集について（大塚）

### 通常の大会との変更点

- 1) 4年ぶりに原則全てのセッションが現地開催となった。講演・聴講ともにオンライン参加はなし。
- 2) 秋季開催での年次大会は2007年以来となった。
- 3) 学生優秀発表賞は前回の春季大会で行われたため、今回は設定なし、とした。

### 反省点・提案

- 1) 運営委員代表と運営委員副代表の連絡には Slack と Google Docs を用い、他の運営委員との連絡にはメールを用いた。連絡手段としてはこれで十分であった。
- 2) 年次大会（1人1件まで講演可）の割に学生優秀発表賞の設定がなかったため、調整は比較的容易であったように思われる。
- 3) 講演数が増えたため、上限数（午前13 午後17）ぎりぎりまで詰め込んだタイトなセッションが多くなってしまった。初日午前を避けずに、もう少しセッション数を増やすべきであった。

## 今大会の概要集提出率

### 今大会（2023 秋）の公演数について

#### 【2023 秋 一般講演(申込みベース)】

	口頭	ポスター	合計
低温	135	63	198
磁性	128	91	219
全体	263	154	417

#### 【(参考) 2023 春 (Web)】

	口頭	ポスター	合計
低温	128	48	176
磁性	62	40	102
全体	190	88	278

【“2023 秋”の表における“磁性”と“低温”の定義】

**磁性**：第一キーワードが 4f 電子系または 5f 電子系

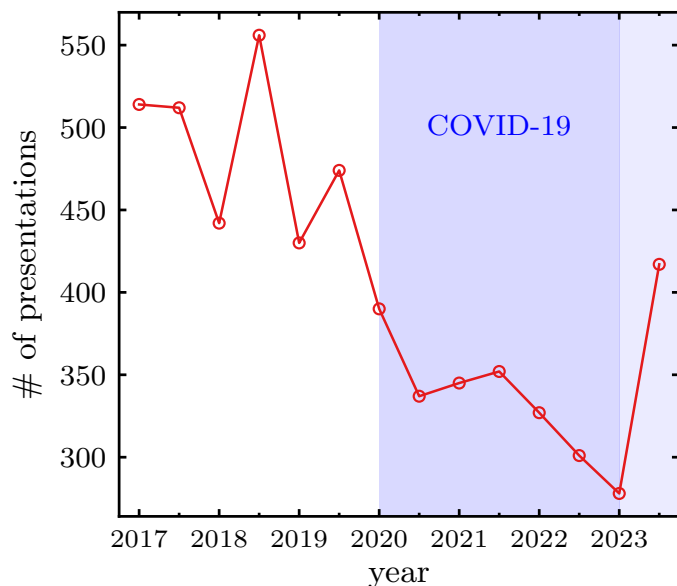
**低温**：第一キーワードがそれら以外

領域 8 最も件数が多い。全体的に講演数が増加 (+139)。特に磁性分野が顕著 (+117)。

第78回年次大会（2023年）講演概要集提出率

領域	講演者数	論文提出数	論文提出率
領域1	179	160	89.3%
領域2	95	91	95.7%
領域3	210	207	98.5%
領域4	150	142	94.6%
領域5	203	200	98.5%
領域6	117	112	95.7%
領域7	82	79	96.3%
領域8	427	416	97.4%
領域9	111	109	98.1%
領域10	120	120	100%
領域11	342	318	92.9%
領域12	130	123	94.6%
領域13	76	76	100%
素粒子論領域	196	111	56.6%
素粒子実験領域	265	208	78.4%
理論核物理領域			
実験核物理領域			
宇宙線・宇宙物理領域	255	175	68.6%
ビーム物理領域	37	33	89.1%
物理と社会			
合計	2995	2680	89.4%

領域8 講演数の推移

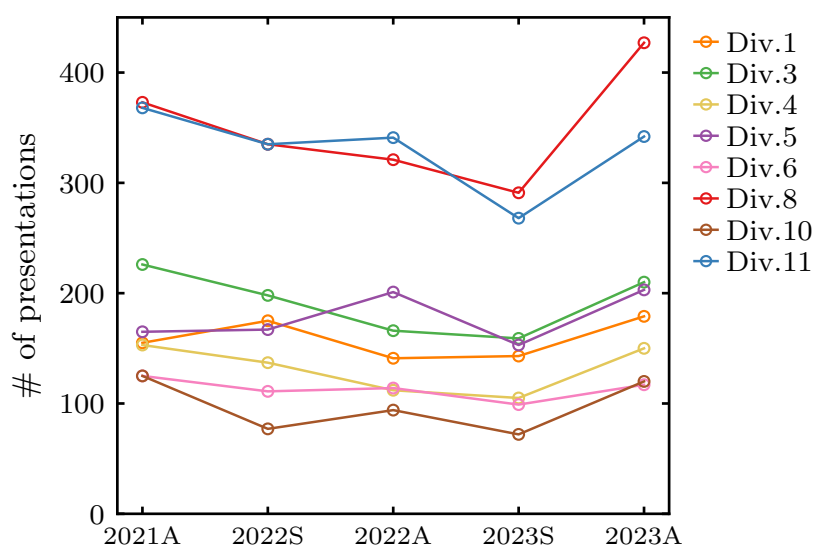


- 2023 秋: 417 (東北大)
- 2023 春: 278 (Web)
- 2022 秋: 301 (東工大+Web)
- 2022 春: 327 (Web)
- 2021 秋: 352 (Web)
- 2021 春: 345 (Web)
- 2020 秋: 337 (Web)
- 2020 春: 390 (名古屋大; 中止)
- 2019 秋: 474 (岐阜大)
- 2019 春: 430 (九州大)
- 2018 秋: 556 (同志社大)
- 2018 春: 442 (東京理科大)
- 2017 秋: 512 (岩手大)
- 2017 春: 513 (阪大)

注) 領域8 講演数は申込ベース

講演数は増加し、コロナ以前の水準に戻りそうな傾向がある。

他領域との比較 (直近5大会、上位8領域)



今大会は年会であるにも関わらず、講演数はほぼ全領域で増加している。

## 議題2：領域委員会(5/29)報告（有田）

### 報告事項

1. 担当理事報告（川畑 貴裕 委員長、坂本一之 副委員長）
  - ・ 今期領域正副代表、領域運営委員の紹介がなされた。
  - ・ 2023 年年次大会の開催方法について(参加票の配布方法など)説明がなされた。

### 審議事項

1. 2023 年年次大会招待・企画・チュートリアル講演、シンポジウム講演の採択状況：物性領域・坂本委員長
  - ・ 招待講演： 6 件採択、0 件不採択
    - ・ 企画講演： 3 件採択、0 件不採択
  - ・ チュートリアル : 2 件採択、0 件不採択
  - ・ シンポジウム（一般）： 7 件採択、0 件不採択
  - ・ シンポジウム（共催）： 4 件採択、0 件不採択  
(領域8：共催シンポ：1 件 →採択)
2. 若手奨励賞受賞者の上限値について説明があった。（領域8は4名）
3. その他
  - 以下の項目について議論がなされた。
    - ・ オンライン大会時のポスターセッションのあり方について
    - ・ プログラム編集の効率化
    - ・ 英語セッションについて

## 議題3：領域8 学生優秀発表賞について（有田）

2024 年 3 月日本物理学会（オンライン開催）学生優秀発表賞の募集について説明がなされた（選考委員長：永崎 洋（産総研））。募集期間は 10 月中旬～10 月末に行なう。詳しくは、本学会の終了後に、領域メーリングリスト、ホームページで周知する。応募者多数の場合は、事前書類選考を行なうこととする。

参考：前回の募集要項（領域8 ホームページ）

[http://www.r8.div.jps.or.jp/call\\_student\\_presentation\\_award.html](http://www.r8.div.jps.or.jp/call_student_presentation_award.html)

#### 議題 4：新領域「計算物理」試行について（有田）

「計算物理」に関する新領域の設置について理事会から提案があった。領域委員会委員長および副会長から説明があり、以下の意見および提案があった。

- 発起人（もしくは理事会）からあらためて趣旨説明と質疑応答の機会を設けてほしい。  
→本大会初日にインフォーマルミーティング開催
- 新たな「領域」として新設をせずに、各領域のキーワードや合同セッションで設定して行うことも可能ではないか。
- 物理学会の領域新設手順に照らせば、領域の区分は物理学の内容・主題によるべきであり、研究の手法・手段によるべきではない。
- 領域新設手順が、一般会員からの提案には適用されるが理事会からの提案の場合に適用されないという理屈は理解しがたい。まずは領域新設手順のルールを領域に共有してほしい。
- 試行期間には講演件数の算出方法等について最小限の影響になるよう特例措置が検討されているが、試行期間が終了したあとに影響が出るのではないか。

#### 議題 5：次期領域代表・副代表および運営委員の紹介（大塚）

領域代表（2023/4-2024/3）有田 亮太郎（東大先端研）

領域副代表（2023/4-2024/3）永崎 洋（産総研）

田中 将嗣（九工大工 低温・実験）運営委員副代表

曾田 繁利（理研 低温・理論）書記

田端 千紘（原子力機構物質科学セ 磁性・実験）web 担当

土射津 昌久（奈良女子大 磁性・理論）運営委員代表

任期：2023年10月～2024年9月

次期運営代表と運営副代表は承認された。次期の方（参加者）から挨拶があった。

#### 議題 6：次次期領域運営委員の推薦・承認（大塚→黒澤）

迫田将仁（北海道大学工学研究院 低温・実験）

足立伸太郎（京都先端科学大学 低温・実験）

北谷基治（兵庫県立大学 低温・理論）

佐藤芳樹（東京理科大 磁性・実験）

金子隆威（早稲田高等研 磁性・理論）

任期：2024年4月～2025年3月

次次期運営委員5名の簡単な紹介があり、参加された各氏から挨拶があった。次次期運営委員としてこの場で承認された。

### 議題 7：次次期領域副代表の推薦・承認（有田、永崎）

次次期領域副代表に有馬孝尚先生（理化学研究所創発物性科学研究センターグループディレクター、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）の経歴の紹介があった。次次期領域副代表としてこの場で承認された。有馬先生から挨拶があった。

### 議題 8：その他（有田）

推薦受付中である以下の賞に関し、説明があった。締め切りと宛先は以下の通りとする。

- 日本物理学会第 28 回論文賞受賞候補論文（領域 8）
- 第 5 回（2024 年）日本物理学会 米沢富美子記念賞

締め切り：2023 年 10 月 13 日（金）

宛先：領域 8 代表・有田亮太郎 [jpsf8info@gmail.com](mailto:jpsf8info@gmail.com)

### インフォーマルミーティング終了後（13:15 頃）

議事録の内容やウェブへのアップロード、引継ぎ等について簡単な確認をした。

以上